

# おおむた 市議会だより

第181号

平成24年度 第1回定例会

平成24年(2012年)8月1日発行

インターネット 議会中継配信中

大牟田市議会

検索

<http://www.city.omuta.lg.jp/shigikai/>

## 【主な記事】

- 議会改革元年を振り返る／ ぎかいのわだい(2ページ)
- 一般会計補正予算を可決／ 本会議運営のあらまし(6ページ)
- 清盛の時代から歴史を見守る三池の宝物／ 新連載 おおむた自慢(12ページ)



天領保育所の元気な子どもたち

も  
く  
じ

- |   |  |
|---|--|
| ■ぎかいのわだい ほか…………… 2<br>議会改革元年を振り返る、トピックス～請願と陳情                               | ■代表質問…………… 8<br>代表質問(4人)                               |
| ■委員会レポート ほか…………… 4<br>教育厚生委員会、都市環境経済委員会、総務委員会、<br>議会改革特別委員会、議会日誌、他議会からの行政視察 | ■一般質問 ほか…………… 10<br>一般質問(6人)、インフォメーション、<br>市議会議員の寄附は禁止 |
| ■本会議運営のあらまし ほか…………… 6<br>本会議運営のあらまし、<br>第1回定例会会派等別表決結果一覧、発言者通告一覧            | ■連載 おおむた自慢 ほか…………… 12<br>おおむた自慢、歓迎議長室、編集後記             |



## 第2回議会報告会を開催します

# 議会改革元年を

大牟田市議会では、8月に市内8会場（別表参照）で2回目となる議会報告会を開催します。前回に加え、今回は午前10時からの開催を2か所、午後6時からの開催を2か所設定しています。お近くの会場にぜひお越しください。大牟田を住みよいまちにするために、多数の来場とたくさんの意見をお待ちしています。（画像は昨年の議会報告会の様子）



### ■ 2部構成で報告します

第1部では、平成23年度の第1回議会報告会で出されたさまざまな意見を受け、議会がどのような対応を行い、市当局にどのように働きかけたのかについて報告します。

具体的には

- ① 世界遺産登録推進事業に関する意見・要望について
- ② 光ケーブル回線未設置地域の整備に関する意見・要望について
- ③ （仮称）中心市街地にぎわい交流施設整備事業に関する意見・要望について

- ④ 中学校給食の取り組みについて
  - ⑤ 議会に関する意見・要望について
- などを報告する予定です。

第2部では、平成23年度に全会一致で可決した次の3件の決議について報告します。

- ① 決議第1号「世界遺産登録推進関連事業に関する決議」
- ② 決議第2号「市民負担の軽減・対策を求める決議」
- ③ 決議第3号「東日本大震災での災害廃棄物の受け入れに関する課題の研究・検討の努力を求める決議」

### （別表）議会報告会 開催日程・会場

開催日	時 間	会 場	主 な 対 象 校 区
8月4日(土)	午前10時～11時30分	三川地区公民館 研修室A B	みなと、天領
8月7日(火)	午後7時～8時30分	労働福祉会館 中ホール	上官、大牟田、大正、中友
8月9日(木)	午後7時～8時30分	駿馬地区公民館 視聴覚室	駿馬南、駿馬北
8月20日(月)	午前10時～11時30分	総合福祉センター 大会議室	白川、平原
8月22日(水)	午後7時～8時30分	三池地区公民館 研修室A	高取、三池、羽山台
8月24日(金)	午後7時～8時30分	吉野地区公民館 研修室A	銀水、上内、吉野、倉永
8月27日(月)	午後6時～7時30分	勝立地区公民館 研修室	笹原、天道、玉川
8月28日(火)	午後6時～7時30分	手鎌地区公民館 研修室A	明治、手鎌



# 振り返る

議会報告会で使用予定のスライド（イメージ）

**(1) 世界遺産登録推進事業に関する意見・要望**

市民「市民周知が不十分。経費の使われ方や、それが妥当なのか分からない。」  
「登録されれば誇りに思うが、登録の効果は。」  
「教育や福祉や安心安全のまちづくりに経費を費やすべき。」

↓

この意見を受け、総務委員会において継続的に検討を行いました

**(2) 光ケーブル回線未設置地域に関する意見・要望**

市民「光ケーブルが上内地域では使えない」  
「市内の他の地域と同じ利用ができるように環境を整備してほしい」

↓

地域間の情報格差につながる恐れがあることなどから、総務委員会が議論しました

**(3) 中心市街地にぎわい交流施設整備事業に関する意見・要望**

市民「中心市街地以外の地区の整備についても、等しく税金を投入すべき」  
「施設整備への市の負担が大きくなるように」  
「施設を利用した子育て施設の整備は考えられないか」  
「駐車場の整備など社会の現状を踏まえた整備をすべき」  
「中心市街地の活性化に向けて頑張してほしい」  
「商店街の活性化計画または構想との整合性は」

**大牟田中学校給食実施方針（案）の概要**

■今後のスケジュール

24年度	25年度	26年度	27年度
パブリックコメント（市民意見募集）	中間報告書提出（市民説明会、説明資料作成）	基本計画・実施計画（国の認可申請）	給食開始
議案提出	議案審議	議案採択	

議会も今後の事業の進め方に注視してよりよい給食実施ができるよう努めます

**決議とは**

議会として対外的に意思表示を行うことで政治的な効果をもたらすもの。

本市議会においては、平成23年度は3つの決議案を可決しました。

決議第1号「世界遺産登録推進事業に関する決議」  
決議第2号「市民負担の軽減・対策を求める決議」  
決議第3号「東日本大震災での災害廃棄物の受け入れに関する課題の研究・検討の努力を求める決議」

**議会での決議③**

24年3月19日 全会一致で可決

決議第3号  
「東日本大震災での災害廃棄物の受け入れに関する課題の研究・検討の努力を求める決議」

内容  
被災地の一日も早い復旧を願い、本市に対し、国の責任による安全性の確保や情報公開、過剰の廃棄物と判断されるものに応じての受け入れ、市長の合意形成を前提とするなど、災害廃棄物の受け入れに関する課題の研究・検討の努力を行うよう要請する。（採択）

## 議会報告会の進め方

あいさつ・報告を40分程度行い、その後の約50分間で質疑を行います。質疑では、まず①報告内容に関する意見、次に②その他の意見、の順に発言をいただきますので、ご協力をお願いします。また、アンケートも実施しますので、こちらもご協力をよろしくをお願いします。

## よりよい方向へ

市の財政は黒字に転じましたが、市民の皆さんの重い負担、中心市街地活性化、市民協働など、本市が取り組んでいる行政課題はまだ山積しています。

市議会は、議会報告会において市民の皆さんからたくさん意見・要望をお聞きし、よりよい方向に進むよう、一緒に考えていきたいと思ひます。市議会に対するご意見もお願いします。

※三池地区公民館と勝立地区公民館での開催時間帯は、計画停電の可能性があります。九州電力から計画停電の実施が発表されましたら、議会報告会は中止いたします。

## トピックス

### 市民が市政に要望できる制度です ～請願と陳情～

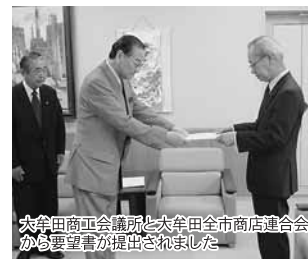
議会への請願・陳情とは、市民の皆さんの市政に対する意見や要望を、請願書や陳情書という形で直接市議会に提出することです。

#### 請願は本会議で審議

請願は、憲法に規定された国民の権利です。委員会で調整の上、本会議で審議し、採択する（とりあげる）かどうか決定します。採択したものは実現が図られるよう、市長等に働きかけます。平成23年度は1件の請願（燃油税制にかかるとる特例措置の恒久化に関する請願）が提出され、採択しました。請願提出には、議員の紹介が必要です。

#### 陳情は必要に応じて委員会で審査

陳情は、内容によって関係する委員会で審査されます。議員の紹介は不要です。平成23年度は合わせて21件の陳情が寄せられました。学校等、市の施設・設備への要望、



大牟田商工会議所と大牟田全市商店連合会から要望書が提出されました

#### 請願（陳情）書の記載例

大牟田市議会議長  
〇〇〇〇様  
平成 年 月 日  
〇×△に関する請願（陳情）書  
請願（陳情）者 住所 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_  
紹介議員（署名） \_\_\_\_\_  
（陳情書には、紹介議員は不要です）

1. 請願（陳情）の趣旨  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
2. 請願（陳情）の項目  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

諸々の事業への助成、政策の提言など多岐にわたります。請願者や陳情者は、希望すれば委員会で直接意見を述べることできます。

#### 今年度提出された主な陳情

件名	団体名	内容
プレミアム商品券発行事業実施に関する要望書（5月7日）	大牟田商工会議所 大牟田全市商店連合会	地域振興につながるプレミアム商品券発行事業への助成を
大牟田市の「女性の健康力」向上に関する要望書（6月7日）	大牟田商工会議所 女性会	がん検診等、健康づくりのための予算確保と条件整備を
県道南関大牟田北線の整備についてのお願ひ（6月12日）	県道南関線建設対策協議会、四ヶ町活性化協議会	県道南関大牟田北線の整備を

他に、市外からも3本の陳情を受けました。

●所管：保健福祉部、教育委員会

## 子育てと若者支援の取り組みを学ぶ

## 教育厚生委員会

### ■子育てサロン、ひきこもり支援、保幼小連携カリキュラム

5月16日から3日間、埼玉県加須市、東京都足立区、同品川区で行政視察を実施しました。加須市では、子育てサロン事業について視察しました。親子が気軽に集える場を提供し、情報の交流を図りながら、子育て中の居場所づくり、不安や悩みの軽減等に取り組まれています。足立区では、ひきこもり支援事業について視察しました。社会参加できない若者の支援を目的として、きめ細かな相談支援等に取り組まれています。品川区では、保育園・幼稚園・小学校連携カリキュラムについて視察しました。

小学校入学後に環境の変化になじめない、いわゆる「小1プロブレム」の防止のため、幼児と児童との交流等、教育環境を生かした教育活動を日常的に行われています。



品川区立第一日野小学校

●所管：産業経済部、都市整備部、環境部、企業局、農業委員会事務局

## 人命を最優先し、災害に備える

## 都市環境経済委員会

### ■大牟田市地域防災計画の見直し

東日本大震災の教訓から、災害を完全に防ぐことは不可能だと思われます。今回、住民の避難といった人命を守ることを最重要視し、災害時の被害を最小化する『減災』の考え方を新たに加え、地域防災計画が抜本的に見直されます。

本市においても、過去に台風や大雨による大きな災害を経験しており、災害の歴史や地理的条件等を踏まえ、市民が安心安全に暮らすことができるまちづくりを推進することを基本方針とし、本市にふさわしい地域防災計画を作成する旨の説明を受けました。

### 主な検討テーマ

本市における過去の災害の検証、災害対策本部機能の強化、円滑な初動体制の確立、災害情報の伝達方法の多様化、避難所機能の強化 など

平成2年7月2日～3日の豪雨災害  
(JR銀水駅付近の線路が水没)

## 議会日誌（4月～6月）

月	日	会議名
4	17	議会報編集委員会
	19	議会改革特別委員会
	23	都市環境経済委員会
	25	各派代表者会
5	7	議会運営委員会
	8	議会改革特別委員会
	9	総務委員会
	29	議会改革特別委員会
6	4	各派代表者会、議会運営委員会
	6	都市環境経済委員会
	7	総務委員会
	8	教育厚生委員会、議会改革特別委員会、議会報編集委員会

月	日	会議名
6	11	議会運営委員会、第1回定例会本会議〔開会〕
	15	第1回定例会本会議〔質疑質問①〕
	18	第1回定例会本会議〔質疑質問②〕
	19	第1回定例会本会議〔質疑質問③〕、請願等調整委員会
	20	総務委員会、教育厚生委員会、都市環境経済委員会
	22	各派代表者会、議会運営委員会、第1回定例会本会議〔閉会〕、議会報編集委員会



●所管：会計課、企画総務部、市民部、消防、議会議務局、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、公平委員会事務局、他の常任委員会に属しない事項

## 万が一の計画停電に備える

総務委員会

### 大牟田市計画停電対応マニュアル

7月11日の委員会において、万が一の計画停電に備えるための上記マニュアルの概要が報告されました。

需給ひっ迫警報の発令、計画停電の実施や大規模停電の発生時において、庁内各部局の役割、連絡体制を明確にし、迅速な情報提供等を行い、市民生活の安定・安心・安全を確保するのが目的です。9部局40項目について、停電により想定される影響と対応を整理しています。

また、計画停電の実施に際して、大牟田市計画停電対応連絡会議も7月2日に設置され、停電情報の収集、提供、被害状況の把握を行う旨の報告も受けました。

### 停電により影響が想定される関係部局(9部局40項目)

保健福祉部(5項目)		教育部(7項目)		
在宅要介護認定者や介護サービス事業所	保育所	児童生徒の下校時の安全対策	特別支援学校	学校施設
言葉保育所	障害サービス	学校給食	地区公民館	リフレスおおむた
胃腸患者、公営病患者、小児慢性特定疾患患者	消防本部(2項目)	環境部(4項目)	指定管理者による管理施設	
	火災・救急・救助	リサイクルプラザ	大気汚染の常時監視	企業局(1項目)
市民部(1項目)	消防用設備等	浄化槽	公衆便所	上下水道施設
コンビニ交付サービス				
都市整備部(2項目)		産業経済部(9項目)		
大牟田駅連絡橋エレベーター	強制排水ポンプ	農業用井堰・湛水防除施設	畜産施設	係船場
公園施設	工事現場の安全対策	大牟田観光プラザ	石炭産業科学館	エコリンクセンター
市営住宅	公営駐車場・駐輪場	道の駅おおむた花ぶらす館	テックパーク熊本浄化施設、マンホールポンプ	エコタウンマンホールポンプ
撤去自転車等の管理	災害時の避難所	出先機関による財務会計システム使用	企画総務部(3項目)	出先機関における文書管理システム等
			出先施設のネットワーク	

(大牟田市計画停電対応マニュアルを元に作成)

## 決算特別委員会のあり方を検討

●所管：議会改革に関すること

議会改革特別委員会

### 議会報告会での意見等を踏まえた決算審査に

大牟田市議会では、前年度決算の審査を例年10月下旬に行ってきました。

しかし、審査を行う10月下旬には、市は次年度の予算編成の終盤にかかっており、現在の審査日程では議会からの指摘・要望等を予算に反映することが難しいこともあるため、本特別委員会では、議会改革の観点から審査日程の見直しについて検討を進めています。

また、今年度の議会報告会の日程を、昨年10月開催から8月開催に変更したことから、そこでいただいた意見等も踏まえて決算審査に臨めるような仕組みづくりをめざしています。

さらに、これまでの決算審査では、議員全員による決算特別委員会が設置され、そこで各委員からさまざまな指摘や要望が述べられてきましたが、今後の決算審査では、重要と思われる指摘・

要望については、委員個人としてではなく、議会として取りまとめ、当局にその対応を求められないか、そのあり方について検討を進めています。



## 他議会からの行政視察(1月~6月)

**1月** 13日 福岡県大川市(議会改革)、17日 千葉県柏市(小規模多機能老人福祉施設)、19日 福島県いわき市(新エネルギー産業創出)、20日 滋賀県草津市(地域認知症ケアコミュニティ推進事業、大牟田あんしんささえ愛地域密着型まちづくり特区)、25日 岐阜県多治見市(大牟田市災害時等要援護者支援制度)、26日 静岡県富士市(エコタウン事業)、同 東京都東村山市(議会基本条例)、27日 熊本県合志市(議会改革)、31日 東京都小平市(有料広告掲載事業)、同 愛知県長久手市(議会改革)

**2月** 1日 愛知県豊川市(大牟田市災害時等要援護者支援制度、地域認知症ケアコミュニティ推進事業)、8日 愛知県稲沢市(議会改革)

**3月** 26日 大分県中津市(産業活性化プロジェクト)、同 岩手県(再生可能エネルギーを活用した先進的取り組み)、

27日 宮崎市自治会連合会(市議会議員定数等の状況)、28日 長崎県長崎市(新地ひまわり住宅建替事業)

**4月** 4日 群馬県みどり市(議会改革)、27日 宮城県仙台市(議会改革)

**5月** 7日 山口県防府市(三池港を活用した地域振興)、10日 長野県飯山市(地域認知症ケアコミュニティ推進事業)、同 広島県尾道市(メガソーラー大牟田発電所)、17日 北海道千歳市(福祉収集、大牟田エコタウン事業、紙おむつリサイクル)、18日 愛知県知多市(環境学習・啓発の取り組み)、21日 大阪府茨木市(大牟田市災害時等要援護者支援制度)、22日 神奈川県海老名市(大牟田市災害時等要援護者支援制度)、24日 北海道釧路市(大牟田・荒尾共同浄水場施設整備と事業運営)

**6月** 27日 島根県安来市(定住促進事業、快適住マイル改修事業)



### 本会議運営のあらまし

#### ■一般会計補正予算約3,080万円を可決

平成24年度第1回定例会は6月11日に招集され、6月22日までの12日間の会期で運営しました。

今議会で審議した議案等は、プレミアム付き商品券発行への助成など約3,080万円増の一般会計補正予算、大牟田市市税条例の一部改正などの議案12件、財団法人大牟田文化会館の事業報告などの報告7件、防災・減災ニューデールによる社会基盤再構築を求める意見書案などの意見書案6件の、合わせて25件でした。

本会議では、副市長二人体制によるトップマネジメント強化、再生可能エネルギー政策の推進、快適住マイル改修事業、生活保護行政等について、各会派の代表質問4名を含む10名の議員が登壇し、市長をはじめ執行部に質問しました。

本会議最終日までに、議員派遣の決定を行うとともに、意見書案2件及び報告7件を除いた議案等について、それぞれ原案どおり承認、可決または同意するなどして、本定例会を閉会しました。

### 平成24年度大牟田市議会第1回定例会 会派等別表決結果一覧

議案等名		会派等略称(詳細下記)	自民	公明	護憲	共産	無所属			審議結果	
			9人	5人	5人	3人	猿渡軍紀議員	城後正徳議員	吉田康孝議員		
議案	第1号	専決処分について(平成23年度大牟田市一般会計補正予算)	○	○	○	○	○	○	○	○	全会承認
	第2号	専決処分について(大牟田市市税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	全会承認
	第3号	平成24年度大牟田市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	全会可決
	第4号	大牟田市住民基本台帳カード利用条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	全会可決
	第5号	大牟田市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	全会可決
	第6号	大牟田市市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	全会可決
	第7号	大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	全会可決
	第8号	大牟田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	全会可決
	第9号	請負契約の締結について(大牟田市笹原小学校屋内運動場改築工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	全会可決
	第10号	財産の取得について(化学消防ポンプ自動車Ⅳ型)	○	○	○	○	○	○	○	○	全会可決
	第11号	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	全会可決
	第12号	大牟田市固定資産評価員の選任について(大佐古寿男氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
発議	第1号	防災・減災ニューデールによる社会基盤再構築を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	全会可決
	第2号	再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	全会可決
	第3号	尖閣諸島の実効支配を推進するための法整備を求める意見書案	○	○	×	×	○	○	○	○	多数可決
	第4号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	全会可決
	第5号	消費税増税と社会保障の切り捨てを行わないことを求める意見書案	×	×	○*	○	×	×	×	×	少数否決
	第6号	原子力発電所の再稼働に反対する意見書案	×	×	○*	○	×	×	×	×	少数否決
報告	第1号	平成23年度大牟田市一般会計予算継続費に係る逐次繰越しについて	報告を受けた (採決なし)								
	第2号	平成23年度大牟田市一般会計予算繰越明許費に係る繰越しについて									
	第3号	平成23年度大牟田市水道事業会計予算の繰越しについて									
	第4号	平成23年度大牟田市公共下水道事業会計予算の繰越しについて									
	第5号	大牟田市土地開発公社の事業報告について									
	第6号	財団法人大牟田文化会館の事業報告について									
	第7号	財団法人大牟田市地域活性化センターの事業報告について									

\*社民・民主・護憲クラブの松尾哲也議員は退席

会派名称	所属議員
自民(自由民主党議員団)	光田 茂、入江裕二郎、境 公司、田中正繁、塚本二作、徳永春男、西山照清(議長)、森 竜子、山口雅弘
公明(公明党議員団)	大野哲也、今村智津子、塩塚敏郎、平山伸二、三宅智加子
護憲(社民・民主・護憲クラブ)	古庄和秀、平嶋慶二、平山光子、松尾哲也、森田義孝
共産(日本共産党議員団)	高口講治、北岡あや、橋積和雄

■本市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求め、反対の意思のある議員の態度を確認することはありません。本表については、起立した会派(または議員)を○と表記し、着席の会派(または議員)を×と表記します。なお、空白は欠席または表決の棄権を表します。また、議長は採決に加わることはできません。



## 市議会第1回定例会発言者通告一覧

(青い網掛け)は一問一答制により質問、水色の網掛けは再質問からの一問一答制により質問、★は8ページ以降に主な内容を掲載

### ① 6月15日 塩塚敏郎議員 代表質問 (公明党議員団)



■市長の政治姿勢について (1)★現政権政党の国政運営 (2)★今後の被災地支援 (3)トップマネジメント強化・拡充 (4)★中心市街地活性化 ■社会基盤づくり「防災・減災ニューデール」について (1)★公共施設全体の現状と今後のあり方 (2)★道路橋の安心・安全対策 (3)地域防災計画の見直し ■再生可能エネルギー事業への取り組みと固定価格買取制度について ■RDF発電事業について (1)リサイクル発電事業の今後の取り組み

### ② 6月15日 平山光子議員 代表質問 (社民・民主・護憲クラブ)



■市長の市政運営とまちづくりの展望について (1)★再生可能エネルギー政策の積極的な推進 (2)★未来を担う子どもたちへの支援 ■教育行政について (1)★学校給食の調理方式 (2)★不登校の実態とスクールソーシャルワーカーの配置 ■安全で住みよい住環境の整備について (1)★後退道路用地の管理と狭隘道路の解消 ■三池港の施設整備について (1)航路照明と背後地整備

### ③ 6月15日 徳永春男議員 代表質問 (自由民主党議員団)



■原発事故によるエネルギー問題と本市における再生可能エネルギー事業の推進について (1)市長の原発再稼働に対する所見 (2)★本市の発電施設による発電能力と再生可能エネルギー事業の促進 ■本市のまちづくりについて (1)九州・山口の近代化産業遺産群の世界遺産登録促進に対する市民意識の認識とその取り組み (2)★新栄町周辺の再開発への取り組みと東新町の国道電線類地中埋設(キャブシステム)の取り組み (3)市内道路網における県道整備事業の推進 ■食による健康対策と教育効果について (1)★健康づくりの原点と、その食育環境づくりにおける(仮称)食育健康推進フェアの単独開催 (2)★学校給食の改善による教育効果と、ある施設の食事改善による犯罪防止効果

### ④ 6月18日 北岡あや議員 代表質問 (日本共産党議員団)



■市民にやさしい市政のあり方について (1)★職員配置の現状と課題 (2)業務の民間委託化の課題 ■★大牟田・荒尾RDFセンターでの事故について ■★快適住マイル改修事業のさらなる拡充について ■手鎌南川河川改修事業の進捗状況と今後の課題について ■中学校給食実施に当たっての課題について

### ⑤ 6月18日 三宅智加子議員 一般質問 (公明党議員団)



■がん対策について (1)★乳がん検診の拡充 (2)子宮頸がん検診の拡充 ■教育相談の現状と課題について ■通学路の安全確保について ■消防バイクの導入について

### ⑥ 6月18日 森田義孝議員 一般質問 (社民・民主・護憲クラブ)



■将来のまちづくりについて (1)24年度におけるまちづくりへのビジョンと投資 (2)九州新幹線新大牟田駅のさらなる利活用 (3)★新大牟田駅周辺地区の建ぺい率変更 (4)★新大牟田駅の駐車場拡大 (5)魅力とにぎわいのある新大牟田駅周辺地区づくり ■下水道行政について (1)下水道事業計画 (2)下水道事業の安定的な事業運営 ■小学校給食について (1)小学校給食拠点校方式 (2)給食調理業務受託者に対する対応

### ⑦ 6月19日 塚本二作議員 一般質問 (自由民主党議員団)



■市長の政治姿勢(状況判断・決断・行動)について (1)★副市長二人体制発足のねらいと新たな市政展開に向けての決意 ■より大胆な企業等誘致策の展開と地場企業の育成強化策について (1)★市民の雇用ニーズの把握とその認識度 (2)誘致受け皿の整備及び地場企業との連携 (3)財源の重点投入と地域間競争力の強化 ■有事即応の防災態勢の確立と実戦(災)的訓練の実施について (1)★地域防災計画の見直し(特に初動対応の万全とライフラインの確保) (2)★平素の訓練と関係機関との連携 ■厳正かつ的確な生活保護行政の施行について (1)★保護行政の精神と本市における実態 (2)施行上の問題点と今後の方向性

### ⑧ 6月19日 光田 茂議員 一般質問 (自由民主党議員団)



■大牟田市のまちづくりについて (1)リーダーの責務 (2)中心市街地活性化基本計画と市民参加 ■市立小中学校の教育環境の整備について (1)小規模特認校制度導入後の教育委員会の今後の役割 (2)市立小中学校の適正規模・適正配置 (3)校舎等教育施設の整備と教育現状 (4)★市立小中学校の土曜授業の復活 ■若い家族への生活環境の支援政策について (1)★若い家族の住宅及び子供の医療費 ■スポーツ施設の整備とスポーツの生活化について

### ⑨ 6月19日 境 公司議員 一般質問 (自由民主党議員団)



■職員配置適正化と人事・給与システムの見直しについて (1)★職員配置適正化方針2011 (2)★人事・給与システム ■TPP(環太平洋経済連携協定)への参加の是非について (1)★市長の姿勢 ■人・農地プランの策定のメリットについて (1)計画の策定 (2)新規就農者への支援 (3)農地集積への支援 ■農業用施設の老朽化に伴う改善について

### ⑩ 6月19日 吉田康孝議員 一般質問 (無所属)



■(仮称)中心市街地にぎわい交流施設について (1)にぎわい交流施設の設計 (2)★にぎわい交流施設の管理運営 (3)★市民活動サポートセンターで行う事業 (4)にぎわい交流施設の「にぎわい」 ■校区まちづくり協議会の今後について (1)1年経過しての状況 (2)今後の方向性



### 今後の被災地支援に どう取り組んでいくのか

公明党議員団 塩塚 敏郎議員

**問** 今後の被災地支援について、見解を聞きたい。

**答** 今後、被災地がれきの受け入れについて要請があった場合には、課題の研究・検討をしたい。人的支援については、計画的な職員数の削減に取り組んでいる厳しい執行体制の状況にあるが、被災地のニーズを的確に把握しながら、人的支援を含めた支援を可能な限り行いたい。

**問** 現政権政党の国政運営について、見解を聞きたい。

**答** 地域主権改革の第一歩としては一定評価している。マニフェストに掲げられている政策は、理念としては理解できるが、現実的な問題として、すべてを実現することは困難ではないかと思う。今後の国政運営を注視していきたい。

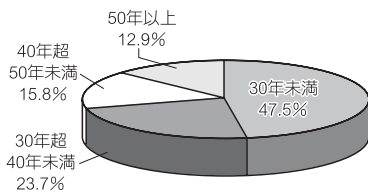
**問** 新栄町駅前地区市街地再開発事業と（仮称）中心市街地にぎわい交流施設の整合性について見解を聞きたい。

**答** 今後、新栄町・銀座通りを含む中心市街地の核となる地域のあり方を検討する中で、公益機能についてもあわせて検討していきたい。

**問** 防災・減災ニューデールの推進に当たり、本市の公共施設の現状と今後のあり方について聞きたい。

**答** 学校施設や公営住宅を含む総合計で約650棟あるが、築年数50年超が84棟、50年未満40年超が103棟、40年未満30年超が154

本市の公共施設の築年数(答弁を元に作成)



棟で、30年超の建物の割合は全体の53%である。耐用年数では、今後5～10年の間に多くの施設で大規模改修や更新の必要が生じる。今後、予防的保全による長寿命化及びコスト縮減・平準化というアセットマネジメントの観点から、公共施設維持管理計画を策定していく。

**問** 23年度の橋梁点検調査の結果と、長寿命化修繕計画策定に当たっての修繕等の優先順位の基準を聞きたい。

**答** 482橋中188橋を抽出点検し、約80%の152橋は何らかの補修が必要とわかった。優先順位は、損傷程度の評価(健全度)と住民影響の評価(重要度)から決定したい。



### 地方からも脱原発・ 再生可能エネルギー政策 推進の声を

社民・民主・護憲クラブ 平山 光子議員

**問** 脱原発・再生可能エネルギー政策への転換を求める声広がっている。地球の未来を考えた環境政策・エネルギー政策を、地方からもしっかりと発信してほしい。再生可能エネルギーの普及・拡大に向けて、もっと積極的に取り組んでどうか。

**答** これまでもエネルギー関連産業等の振興に取り組んできている。今年3月に策定した産業振興ビジョンでも、重点的・戦略的に取り組むべきこととして位置づけた。引き続き、新エネルギー産業の振興に取り組んでいく。



**問** 子供たちへの手厚い支援が、地域振興にもつながる。予算が枠配分になっているが、教育・子育てに関しては課題が多い。子供支援特別枠を設けてはどうか。

**答** 23年度予算から、まちづくりの特別枠を設けており、創意工夫のあるものについて、この枠の中で採用したい。

**問** 給食の重要性が一層見直されている。安全でおいしい給食を継続してほしい。小学校給食調理の民間委託での併用方式が始まるが、長年、正規職員によって自校調理方式が担われてきたことをどう評価しているのか。

**答** 献立、食材、調理法などの工夫や徹底した衛生管理等に努めて、安全でおいしい、楽しい給食づくりの実現が図られてきた。これらの実績を踏まえ、さらなる学校給食の向上を目指したい。

**問** 本市の不登校の状況は大変厳しい。学校現場でも評価の高いスクールソーシャルワーカーの確保においては、さらなる増員が必要ではないか。

**答** 必要性を十分理解している。市長会や教育長の協議会等で、中学校への全校配置を国・県に要望している。

**問** 建築基準法第42条第2項に規定された後退道路用地の整備のために、要綱等を定めるべきではないか。

**答** 他都市では要綱を定めているが、寄附を受ける用地の測量・登記や整備に相当の負担が生じることになる。必要性は認識しているが、慎重に検討する必要がある。





## 本来あるべき食育推進のあり方を問う 健康は大牟田を救う

自由民主党議員団 徳永 春男議員

**問** 健康づくりの原点と、その食育環境づくりにおける食育健康推進フェアの単独開催の方向性を聞きたい。



**答** 現在の食育フェアのさらなる充実を図るとともに、今後、どのような方法や手法によって健康づくりや食育の大切さを啓発していくかは、議員提案の方法

も含め、より効果的な取り組みを検討していきたい。

**問** 学校給食に関する献立研究会等の設置についての考え方について聞きたい。

**答** 現在設置している献立作成委員会や献立反省委員会において、多様な観点からの献立の研究の充実を図っていくとともに、新たな中学校給食の献立についても、食育基本法等の観点から当該委員会で研究を進めたい。

**問** リサイクル発電事業を平成30年度以降も継続する場合は、平成27年3月末をもって判断をするということだが、今年度には今後の進め方についての明確な提示をするべきではないか。

**答** 平成27年では時期的に遅いのではないかとということで、今年度末には方向性を定めるべく、現在、福岡県を中心として、各組合、発電所等と調整を進めている。

**問** 新栄町駅周辺の交流施設整備を含むまちづくりとして、同駅前再開発計画をどうとらえているのか。

**答** 新栄町の活性化に大きく寄与する核的事業であると認識している。これまでも準備会に対して事業計画の構築に向けた指導・助言を行うなど、事業促進に努めており、本年度は計画策定支援の予算を計上し、さらなる促進を図ることとしている。

**問** 中心市街地の玄関口とするまちづくりの一環としての、東新町国道の電線類地中化の考えを聞きたい。

**答** 本年度の国の予算で国道208号線の旭町から東新町二丁目区間の測量設計費が再度計上され、現在、九電やNTTなど関係機関との協議が進められている。本日も国と連携して、事業の促進に取り組みたい。



## 市民にやさしい市行政のあり方とは

日本共産党議員団 北岡 あや議員

**問** 市役所に相談に行く場合、複数の課に行き、各課で手続きを要する場合も多い。病気の方や高齢者などは相当な困難を伴う。職員配置適正化方針のもと、どんどん職員数が減らされている。職員数や配置については、高齢化が進む本市が、市民とどう接していこうとするのか、どういう相談窓口が必要で、どういう連携体制が必要であるかという視点が大切である。市民に寄り添える相談窓口の体制や、各課をつないでいく職員の配置が必要ではないか。

**答** 相談を受けた課が、きちんと関係課と連携を図りながら、十分に内容をつないでいくことが必要である。今後、窓口の一本化や、連携の体制について検討していく必要がある。

**問** RDFセンターで発生した死亡事故は、平成16年の事故の教訓が活かされていない。市及び施設組合の操業に対する監視体制は十分だったのか。また、16年の事故後の操作手順は、現在の業者に引き継がれているのか。

**答** 今回の事故で亡くなられた故人の御冥福をお祈りしますとともに、御遺族の皆様に哀悼の意を表します。組合は、受託会社に運転管理業務を委託しており、委託契約では、受託者が独立した事業者として専門的な知識・経験に基づき、自らの意思と裁量で業務を遂行するものである。したがって、施設の運転管理について、組合には詳細についての指揮命令権はないものと考えている。

安全手順などは、業者が変わるときに引き継ぐ契約をしており、基本的には引き継がれていると考えている。

**問** 快適住マイル改修事業の申請件数は143件で、1週間で1,000万円の予算額に達し、受付終了となった。二一ズも経済効果も高いこの制度を評価し、補正予算並びに今後も継続した予算をつけていただきたいがどうか。

**答** 今回の申請の総工事費金額は約1億5千万円で、一定の効果はあったものと考えているが、現在は申請の受付が終了したばかりで、点検・評価等が十分できる段階ではない。





## 女性が元気に 活躍できるまちづくり

公明党議員団 三宅 智加子議員

**問** 本市の乳がん検診の受診率は、全国平均の20%と比べ半分の11%と、県内でも低い状況にある。乳がん、子宮頸がん検診の無料クーポン配布も4年目を迎える本年、受診の機会を生かすためにも課題を明確にし、受診しやすい環境づくりをすべきと思うが、見解を聞きたい。

**答** 全国的な課題として、受診機関や体制、女性医師数が十分でないこと等がある。本市としては、受診機会の拡充、子育て応援デーの設置等、受診勧奨の取り組みを強化したい。



**問** 商工会議所女性会が提出した女性の健康力向上に関する要望書について、所感を聞きたい。

**答** 関係団体の皆様方が受診率向上に向けた取り組みを行うことは市民と行政との協働であり、意義深いものとする。今回の要望を真摯に受け止めて、関係団体等と連携しながら、一層の健診の推進に努めていきたい。



## 魅力とにぎわいある 新大牟田駅に向けて 周辺地区の整備と利活用の促進を

社民・民主・護憲クラブ 森田 義孝議員

**問** 新大牟田駅周辺地区への居住対策や企業事務所誘致対策、土地の利活用促進などの視点に立った建ぺい率や容積率の変更についての考えを聞きたい。

**答** 駅東側は、定住促進を図る住宅街区としての土地利用を期待している。駅西側の交流街区は、現在でも住宅やマンションなどの共同住宅、店舗、ホテル、事務所等の建築が可能である。建ぺい率や容積率の見直しについては、今後の土地利用の動向や変化を見きわめるとともに、社会状況の変化等を踏まえながら検討したい。

**問** 新大牟田駅の交流拠点としての利活用、地域の拠点機能の向上、魅力とにぎわいのある駅に向けた環境整備の観点から、駅駐車場の拡大について聞きたい。

**答** 新大牟田駅のさらなる利便性の向上と新幹線の利用促進を図るためにも、駐車場の拡大は必要であると思われることから、前向きに具体的に検討していきたい。



## 働く場の創出こそ 第一の課題である

自由民主党議員団 塚本 二作議員

**問** 雇用ニーズの把握と、その認識度を聞きたい。

**答** 総合計画策定時に実施した市民意識調査において、市民が一番求めているのは働く場であり、雇用の創出は若者の定住や市民の豊かな生活、都市発展に不可欠な重要課題と考えている。

**問** 副市長二人制での市政発展に向けた決意を聞きたい。

**答** 関係機関等との対外的・戦略的な行財政運営を行うことにより、将来のまちづくりに向け萬進していきたい。

**問** 有事即応の防災体制の確立と実災的訓練はどうか。

**答** 消防団の充実に努め、関係機関と連携しながら、ライフラインを整備するなど、防災体制の強化に努める。また、各方面で実状況にあった訓練を行っている。

**問** 厳格な生活保護行政の精神について聞きたい。

**答** 生活保護法に「国が生活困窮の程度に応じ必要な保護を行い、その自立を助長することが目的」とある。



## 市立小中学校の土曜授業の復活と 若い家族の子育て支援を

自由民主党議員団 光田 茂議員

**問** ゆとり教育の導入で学校週五日制が始まったが、近年、子供の学力低下を危ぶむ声が広がっている。芦屋町のように、本市でも土曜授業を復活する考えはあるか。

**答** 県教育委員会が示した土曜授業の趣旨とは、土曜日であることで、保護者の授業参観などへの積極的な参加が望めるものであるため、本市でも教育課程検討委員会の中で検証を行いながら検討を進めたい。

**問** 少子高齢化対策として、若い家族の子育て環境支援のためにも、市営住宅を開放してはどうか。また、小学生までの医療費無料制度の考えについて聞きたい。

**答** 若い世帯を対象とした市営住宅の特別枠はないが、今後、子育て世代の安定した生活の確保のため、入居条件を満たすことを前提に優先枠を検討したい。また、子供の医療費は、小学6年生までの入院費の自己負担への助成を25年4月診療分より実施できるよう検討している。



### 職員配置の適正化と 人事・給与システムの見直しを

自由民主党議員団 境 公司議員

**問** 市の職員数はいまだ他都市と比べて多いが、削減計画の見直しはあるのか。また、人事評価制度における成果・能力主義の給与制度導入の考えはどうか。

**答** 職員配置適正化方針2011に掲げる目標数値の着実な達成を図りたい。成果・能力主義の給与制度導入は、人事評価結果を有効活用し、管理職は本年度より制度を導入し、25年夏季の勤勉手当から評価結果を反映させる。

**問** TPP交渉が21分野で協議中だが、我が国がTPPに参加すれば、農産物では食料自給率が39%から13%へ悪化すると推定される。近隣都市の首長は大半が反対であるが、古賀市長はいまだ慎重姿勢か。

**答** 貿易分野において、この協定が締結された場合は、特に農業への影響が大きいと言われており、貿易立国である我が国において、大変難しい問題である。本市の農業と地域産業を念頭におき、国の論議を見守っていく。



### 「協働のまちづくり」の拠点施設は 単なる箱物にならないように

無所属 吉田 康孝議員

**問** (仮称) 中心市街地にぎわい交流施設への民間活力の導入について、具体的にどのように考えているか。

**答** 建物全体の警備、清掃、貸館業務など委託を想定できるものは、積極的に民間活力を導入したい。市民活動サポートセンターについては、他自治体では、自治体直営、一部を市民活動団体へ委託、指定管理者による運営、自治体と社会福祉協議会、市民活動団体との協働運営と様々だが、市民との協働を進める拠点でもあり、NPOや市民活動団体による運営も想定し、検討を進める。

**問** ボランティア登録派遣事業は、今、生涯学習課と社会福祉協議会が行っている。市民活動サポートセンターができて、ボランティアセンターが3カ所あるとしかみえない。縦割りではなく、横の連携をお願いしたい。

**答** 市民活動の拠点ができることから、どのような形で連携していくのかを含め、関係部署と十分協議する。

### 市議会議員の寄附は禁止！ 有権者の寄附要求も禁止！

#### ■公職選挙法では、次のようなことが禁止されています

- 議員や後援会が、寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと
- 議員や後援会が、お中元やお歳暮を贈ること
- 議員が年賀状や暑中見舞いなどのあいさつ状を出すこと（自筆の答礼は除く）
- 市民や団体が、議員に寄附などを求めること

みなさんのご理解とご協力をお願いします。



選挙のめいすいくんファミリー

### インフォメーション

#### ■次の定例会は9月です

詳細については、8月上旬に議会事務局へお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

#### ■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。



#### ■会議録の閲覧

本紙掲載の代表及び一般質問は、質問した議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。9月上旬から閲覧できます。ホームページでも9月上旬から検索・閲覧できます。



(市教育委員会提供)



## 清盛の時代から歴史を見守る三池の宝物

新連載  
おおむた自慢

### 「清盛」時代の三池

今年NHK大河ドラマ「平清盛」が放映中ですが、九州は平家が落ち延びた終焉の地として様々な伝説が残されています。古くからの歴史を持つ三池地区にも、平清盛が活躍した平安時代後期、12世紀後半頃の宝物が、希少なまま残っています。

### 普光寺木造薬師如来坐像

三池の平安時代遺産の第一は、「普光寺木造薬師如来坐像」(写真①)です。臥龍梅でも有名な普光寺境内の一段高いところ、木立の中にたえず本堂に安置されている、像高92cmの威厳溢れる、堂々とした仏像です。平安時代後期の姿を伝えるのは顔から胸、肩にかけての部分で、両手や下半身は中世に補修されたようで、現在は県指定文化財となっています。本堂そのものも、平安時代後期に盛行した「一間四面堂」という様式の建物ですが、建造は江戸時代初期とみられています。(写真②)

### 刀工「三池典太光世」

平清盛は、武士の棟梁として初めて政権中央に上り詰めた人物ですが、武士の魂といえば日本刀。三池は全国に名を馳せた刀工「三池典太光世」を輩出しています。その鍛冶場跡とされるのが、高泉のスーパー付近の住宅地の一角に当たる「典太屋敷跡」です。

平安時代後期の初代三池典太光世の作品として最も有名なのは、加賀前田家に伝わる太刀「大典太」で、現在は国宝に指定されています。大典太は、全体に身幅が広くて力強い姿をしており、平家の家宝だった太刀「小烏丸」とともに、日本刀の祖形をなすものと評価されています。徳川家康の愛刀「ソハヤノツルギ」(写真③、④ 国指定重要文化財 静岡市久能山東照宮蔵)も三池典太の作として有名です。

ここで紹介できなかった遺産が三池にはまだ多く伝存します。清盛の時代を思い、三池を訪ねてみませんか。

### 歓迎議長室



### 〈花の日にちなみ〉

6月13日、高取聖マリア幼稚園から、議会に花が贈られました。キリスト教では、6月第二日曜日が花の日とされています。

### 〈永年勤続等表彰〉

5月23日の全国市議会議長会第88回定期総会にて、金子恵美子前議員(写真前列左)が議員として20年以上の永年勤続表彰を、西山照清議長(同右)が正副議長4年以上の表彰及び同国会対策委員会副委員長としての感謝状をそれぞれ受けました。



### 編集後記

連載記事は「議員のよこ顔」が終了し、今号より大牟田の自慢できることを編集委員が取材して記事にする新連載を始めました。大牟田の素晴らしいところをたくさん紹介したいと思います。季節は、まぶしく暑い夏到来です。8月に行う第2回議会報告会でも、大牟田を深く思う皆様の、激しく熱いご意見が、多数寄せられることを期待しています。どうぞ会場にお越しください。お待ちしております。(T)

### 編集 議会報編集委員会

【委員長】吉田康孝 【副委員長】平山光子  
【委員】大野哲也 北岡あや 森 竜子

### 発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地  
TEL 0944-41-2800  
FAX 0944-41-2880  
E-mail gikaijimu01@city.omuta.lg.jp